

富里市支線交通実証運行計画（素案）の

パブリックコメントの結果について

- 1 意見募集期間 平成24年9月1日～9月24日
- 2 意見提出者 5人
- 3 意見件数 7項目

結果（意見と市の考え方）

【意見】

- (1) 停留所までの距離を感じる
- (2) 八街駅、富里バスターミナルまでルートが拡大することに安心感を得る
- (3) 利用者が少なく廃止とならないようにして欲しい
- (4) 根本名ルートについて成田駅に接続してほしい
- (5) 帰りの予約に不便を感じる
- (6) 利用者が乗車可能人数を超えた場合の対応はどうするのか
- (7) 中部ふれあいセンターから富里バスターミナルまでは交通渋滞が懸念される

【市の考え方】

①：停留所までの距離について・・・意見(1)

本計画では、市の公共交通の考え方の原点である路線バスを補完するという目的でアンケート調査等から得た地域特性と経費面・効率性を考慮し、基本的に既存のさとバスの停留所を活かしたルート設定及び停留所の設置としております。

停留所の位置等につきましては、実証運行での動向を踏まえ利用ニーズに応じて停留所位置の変更などを検討してまいりたいと考えております。

②：ルート拡大と利用者数の低下について・・・意見(2)(3)

本計画では、サービス強化を図る上で、アンケート調査から得た要望の上位である行きたい時間に行きたい場所に運行することに主眼を置き、ルートの拡大と増便を計画しました。

これらの要素を踏まえ、市民が広く利用いただけるようホームページや広報などにより周知に努め、利用者数の向上を目指してまいります。

③：成田駅への接続について・・・意見(4)

市で行う公共交通については、民間交通事業者による路線バスの補完という考え方が原則となりますので、ルートや運行時刻の設定等については路線バスと競合する事のないよう十分留意する必要があります。

本計画を策定するにあたっては、これらを踏まえ市内を運行する路線バス事業者等と十分に協議を重ね、その結果を計画に反映させたものです。

成田駅へのアクセスにつきましては、路線バスとの乗継ポイントとして路線バスが多く行き交うバス停に近接した中部ふれあいセンターに新たに乗降ポイントを設置し、可能な限り路線バスの運行時刻に応じたダイヤ設定とするなど、乗継しやすさの向上を図ってまいります。

④デマンド交通の帰りの予約, 乗り溢れ, 交通渋滞について・・・意見(5)(6)(7)

デマンド交通の予約方法につきましては、利用者の負担がより軽減されるよう、一度の予約で行き帰りの予約ができる方法や、行きの運転手に予約できる方法など検討してまいります。

利用者が車両乗車定員を超えた場合の対応につきましては、予約制とすることで運行事業者は事前に乗車人数を把握することが可能ですので、車両乗車定員を超えた場合は2台目で対応するなど乗り溢れが生じない対応を図ります。

交通渋滞につきましては、本計画のデマンド交通は基本的なルートを設定しておりますが、最後の乗客が乗車後の目的地までの運行は、交通量に応じて別ルートによる運行が可能となっておりますので、市域内で発生する慢性的な交通渋滞等はある程度回避できるものと考えております。